

つられていろんな表情をしてしまう魅力的な話し方

山崎 範子

啓子さんのお話になる時の表情がとても豊かで、聞いているこちらも、つられていろんな表情をしたような気がします。とても魅力的な話し方でした。自分の普段の話し方を振り返り、もっと人を引き付ける、人の気分を楽しくするような話し方をしないと…と思いました。

私は医療従事者ですが、聴力障害についての知識が乏しく、国際手話の話や日本では、手話は福祉としてとらえられており、欧米では言語としてとらえられている、国際学会についてなどのお話を聞いて勉強になりました。

啓さんの体験の中でのつらい気持ち「自分のことを勝手に決めないで」は医療者として忘れてはならないことだと思います。いくら良かれと思っても勝手に決めることではないですね、

「あなたのため」を免罪符に本人なしで話を進めることのないように気を付けなければと思いました。

現在でも障害者の受け入れを拒否するところがあるのは残念です。

レゴランドも熱海の施設も両者とも「災害時の避難誘導ができない」ことを理由にしています。災害対策を怠っているという現実。それを理由に差別しているとしか思えません。

どちらも後日謝罪していますが、本当に謝罪の気持ちがあるならば、災害対応を普段から行い、常に安全確保できる体制を考えてほしいです。心のバリアフリーはなかなか難しいですが、まずところをフリーにしてすべての人が安全に楽しく過ごせるように考えていける社会になってほしいです。

そして、それに自分がどのようにかかわっていけるか…なども考えながら聞いていました。

いろいろ考える機会を与えていただきありがとうございました。